



10月の
アルバム

「自然の恵みを 食べて飲んで 学ぶバスツアー」

2012年10月21日(日)

やまなしけん こかん
山梨県で 五感を
はたら
フルに働かせて
けんがく
3つの見学を
してきました。



こんかい
今回も
キッズフィールドは
てんき めぐ
お天気に恵まれ
きもち いちにち
気持ちのよい1日でした

サントリー白州蒸留所 はくしゅうじょうりゅうじょ

はじめに ウイスキーの貯蔵庫を見学しました。
たる なか じゅくせい あいだ じょうはつ へ
樽の中で熟成される間に蒸発して減ってしまうそ
うです。これを『天使の取り分』というそうです。



わたしたち
ひやくてんしには
ぬれぎぬですね。



たる つか
樽に使うオークと
もくざい せいぶん
いう木材の成分が
こはくいろ ふか かお
琥珀色と深い香りを
う だ
生み出します。
きゅうかく たいけん
嗅覚の体験です。



つぎ てんねんすい
次は天然水です。
こうじょうない
工場内は
いどう
バスで移動します。
おお とり え
大きな鳥の絵が
たの
楽しめます。





たいよう はつでん
太陽パネルによる発電の
 ようすがひょうじ
ようすが表示されています。
 ひつよう でんりよく はんぶん たいようはつでん
必要な電力の半分ほどが太陽発電で
まかなわれています。



こうじょう
この工場では
 さくげん と
CO2削減への取り組みを
 まな
学びました。2Lのペットボトル10本から
 こうじょう せいふく ちやく
工場の制服1着ができるそうです。



けんがく さいご しいん
見学コースの最後は試飲です。
 キッズのみなさんは天然水と
オレンジジュースです。



おお じょうりゆうがま
大きな蒸留窯が
ありました。
 バスから見た
富士山を
 れんそう
連想しました。



はくぶつかん さいじょうかい
ウイスキー博物館の最上階からのパノラマです。



やぶうちまさゆきびじゅつかん
藪内正幸美術館



だれ 誰もが、いちど えほん とり
動物の図鑑で見ている絵です。
「冒険者たち」や
「ガンバとカウソの冒険」
の懐かしい さし絵です。



ここでは
めの
しかくたいけん
視覚体験
です。



やぶうち 藪内さんの絵を見ていると
自分でも描いてみたくなります。

かあ お母さんたちは小学生時代の
絵や通信簿に見入っていました。

しら ゆり じょうぞうじょ
ロリアンワイン 白百合醸造所



ぶどう畑で説明を
受けながら
試食をしました。



たの お楽しみは
ぶどう踏み。
お母様方も
挑戦しました。



しよつかん
触感でぶどうを
味わいました。





しぼ
絞りたてのジュースを
テイasting。
みかく たいけん
味覚の体験です。



はっこう
ワインの発酵タンクは
ちかすい ひ
地下水で冷やしています。



こうぼ くわ
酵母を加えた
ぶどう かしゅう
果汁は
やく げつ
約1か月でワインに
なります。



はっこうちゅう たる なか に きん かたんそ
発酵中の樽の中では二酸化炭素が
はっせい
発生します。パスツール管はブクブクと
あわ た
泡を立てていました。



ボトルにワインをつめたら、
せん
栓をしてラベルのデザインをします。





きかい
機械では
いっしゆん
一瞬でラベルが
はれます。



キッズ
フィールド
とくせい
特製ボトルと
あわせて
おみやげです。



こじゆえん
古寿園という
ぶどう園でも
ぶどうを試食
しました。



はくしゆえんじょうりゆうじょ
サントリー白州蒸留所のみなさま、
しらゆりじょうぞうじょ
白百合醸造所のみなさま、
やぶうちまさきびじゆつかん
藪内正幸美術館のみなさま、
きちよう たいけん
貴重な体験をありがとうございました。
さんかしゃ
参加者のみなさま、おつかれさまでした。



キッズフィールドでは、また楽しい親子体験学習を
企画しています。ご参加をお待ちしています。

